

疾病の成り立ちと回復の促進③

臨床微生物・医動物

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
微生物の大きさ (2分30秒)		微生物・医動物はその大きさも種類によってさまざま、肉眼で観察することができる寄生蠕虫などから光学顕微鏡で観察可能な原虫、電子顕微鏡でなければ観察できないウイルスなどがある。	1章 微生物・医動物とは 1項 臨床微生物・医動物の特徴
常在微生物 (2分5秒)		ヒトの腸管内、皮膚表面、鼻腔などにはおよそ100兆個の細菌が存在している。これを常在微生物と呼ぶ。常在微生物を視覚的に確認するために、ハンドスタンプ法を用いて培養・観察する。	1章 微生物・医動物とは 2項 身の回りの微生物
手洗い (3分18秒)		石けんによる手洗い、アルコール製剤による手指消毒の方法を解説する。	2章 感染症の分類と感染防御機構 1節 感染症と臨床微生物・医動物 2項 感染成立の3要因と感染予防の基本
細菌性食中毒の予防 (2分35秒)		細菌性の食中毒を予防するためには、食品に菌を寄せ付けないことや、菌を増殖させないことが重要である。食品中の細菌の増殖について実験を行う。	3章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 3節 消化器系感染症 2項 食中毒の予防・治療
ヒト免疫不全ウイルス HIV (Human immunodeficiency virus) (45秒)		エイズの病原ウイルスである HIV ウイルスについて、その構造や感染経路について説明する。	3章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 6節 性感染症 ●ヒト免疫不全ウイルス
無菌室の一例 (2分30秒)		無菌室の意義、室内を無菌状態に保つための工夫、構造、利用時の注意点などを紹介する。	4章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 7節 移植患者と感染症 ●アスペルギルス
骨髄バンクドナー登録希望者の方へ (14分6秒)		日本骨髄バンク制作によるビデオ。骨髄移植の登録から移植への流れを紹介する。	4章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 7節 移植患者と感染症 1項 造血幹細胞移植

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>滅菌手袋の着け方・外し方 (2分48秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>手袋の外側に触れないよう注意しながら装着し、両手を合わせて指先をフィットさせる。手袋を外す場合も外側に触れないようにして脱ぐ。</p>	<p>4章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 9節 血管内カテーテル関連血流感染症 1項 血管内カテーテル関連血流感染症</p>
<p>洗浄の方法 (6分27秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>医療機器の再生処理のプロセスのうち、滅菌・消毒の前段階として重要視されている洗浄。ここでは洗浄の際に使用される主な装置を取り上げ、その特徴や注意点を一つひとつ解説する。</p>	<p>5章 感染・発症予防と行政の対応 2節 洗浄・消毒・滅菌と環境の清掃 2項 医療機器の洗浄・消毒・滅菌</p>
<p>感染症 ～冷静な対応のために (12分50秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>医療従事者である限り、感染症に罹患するリスクは避けて通れない。感染症法における感染症の分類と対策を確認するとともに、医療従事者が感染症とどう向き合うべきかを考えるべく、西アフリカのリベリアでエボラ出血熱患者の対応にあたった感染症の専門家、古宮伸洋医師（日本赤十字社和歌山医療センター）に話を聞いた。</p>	<p>5章 感染・発症予防と行政の対応 3節 感染症 2項 感染症法の制定</p>
<p>尿検査の実際 (3分25秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>5段階の血尿スケールの評価や尿沈渣検査の方法を紹介。さらに細胞診の判定基準なども解説する。</p>	<p>6章 感染症の検査・治療 1節 感染症検査と臨床微生物・医動物 2項 原因微生物・医動物を検出する検査</p>
<p>薬剤感受性検査 (1分45秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>MRSAなどの薬剤耐性菌が問題となっている。薬剤耐性菌の増殖を防ぐには抗菌薬の適正な使用が重要である。ディスク法を用いた薬剤感受性検査について解説する。</p>	<p>6章 感染症の検査・治療 2節 感染症の治療 1項 抗感染薬</p>
<p>抗菌薬を理解するための理論 (4分41秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>抗菌薬による治療を行う際、その投与方法や投与量はさまざまな理論に基づいて決定される。この動画ではそのうちの特に重要な理論を取り上げ、シンプルに解説する。</p>	<p>6章 感染症の検査・治療 2節 感染症の治療 1項 抗感染薬</p>